

空気と水のテクノロジー

RYOWA

第66期 中間期 業績のご報告 [平成26年4月1日～平成26年9月30日]

REPORT

—— 株主通信 vol.29 目次 ——

- 1 ごあいさつ・トップメッセージ
- 4 施工実績
- 5 テクノ菱和の技術の紹介
- 7 連結財務情報
- 9 会社概要／株式の状況

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第66期(平成26年4月1日から平成27年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

阿部捷司

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減から景気の落ち込みが見られましたが、足元ではその影響が和らぎつつあり、緩やかに持ち直しの動きを見せております。しかしながら、米国やアジア向けの輸出が伸び悩み、個人消費の回復も緩やかなものにとどまっているため、回復のペースは緩慢な動きとなっております。

建設業界におきましては、公共投資は補正予算の効果が顕在化してきており、設備投資も企業の堅調な投資意欲により持ち直し傾向となるなど、全体としては底堅く推移いたしました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は、受注高30,388百万円、売上高24,244百万円、営業利益223百万円、経常利益446百万円、中間純利益241百万円となりました。

当中間期は、昨年に引き続き受注が堅調に推移したことに加え、期初の手持工事高も昨年より高い数字であったことから、前年同期と比べて、受注高は微増ながらも売上高は大きく増加いたしました。また、利益につきましては、売上高の増加に加え、継続した原価低減

への取組みなどにより、中間期においても黒字を確保する結果となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受 注 高	30,388	30,160
売 上 高	24,244	19,190
営 業 利 益	223	△455
経 常 利 益	446	△392
中 間 純 利 益	241	△272

Q 上半期の取組みについて教えてください。

A 当期は「チャレンジ」をキーワードに掲げ、当社グループが今後も利益を伴う持続的な成長を遂げるための施策に取り組んでおります。

具体的には、受注の拡大に向けて、積極的な提案営業とお客様へのきめ細やかなサービスを行うライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制を推進しており、その一貫として、お客様の既存設備の運用改善を支援するサービス「smart SOLAVICE」の導入を進めております。また、建設業界全体で課題となっている技能労働者の不足問題に対して、教育体制の見直しによる施工能力の増強などの施策にも取り組んでおります。

その他にも、成長分野への営業強化による受注の拡大や新たな海外拠点、海外調達などの可能性を探り、事業基盤の強化に努めてまいりました。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 消費増税の反動減により、景気は一旦落ち込みを見せましたが、反動減の一巡とともに、経済対策による下支えや所得・雇用環境の改善、外需の持ち直しなどを背景に、景気の回復基調は継続するものと思われます。

建設業界におきましては、公共投資は経済対策による効果が継続し、設備投資も企業の投資マインドの改善により、先行きも増加基調となることが予想され、堅調に推移するものと思われます。しかしながら、資材価格や労務費の高騰による工事遅延のリスクや、年度後半には補正予算効果の剥落により公共投資が減少する可能性もあるなど、楽観を許さない状況も見受けられます。

当期の連結業績見通しにつきましては、堅調な受注のもと、受注高56,000百万円、売上高54,000百万円、営業利益1,430百万円、経常利益1,560百万円、当期純利益800百万円を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
受 注 高	56,000	55,414
売 上 高	54,000	49,108
営 業 利 益	1,430	1,342
経 常 利 益	1,560	1,507
当 期 純 利 益	800	662



株主のみなさまへのメッセージを
お願いします。

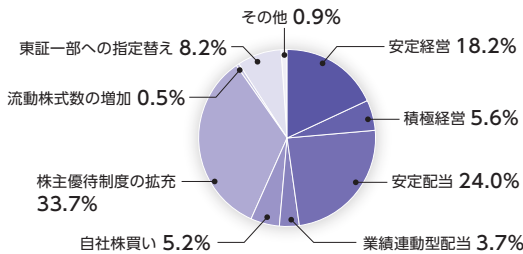
当社グループは、2015年度を初年度とする
中期事業計画の策定を進めております。東京オ
リンピック終了後に国内建設投資の落ち込みが懸念さ
れるなかで、中長期的な成長を可能とすべく、来期から
3カ年にわたる当社グループの経営ビジョンを株主のみな
さまにご報告できることと存じます。

当期末の配当金につきましては、前期より50銭増配
となる6円50銭とさせていただく予定にしております。
当社グループのより一層の発展に向けて全力で取
り組んでいく所存でございますので、株主のみなさま
におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指
導を賜りますようお願い申し上げます。

株主さまアンケート

本年6月～7月に実施いたしました株主さまアンケートに多数
のご回答をいただき、ありがとうございました。頂戴いたしまし
た貴重なご意見は今後の経営やIR活動に反映してまいります。

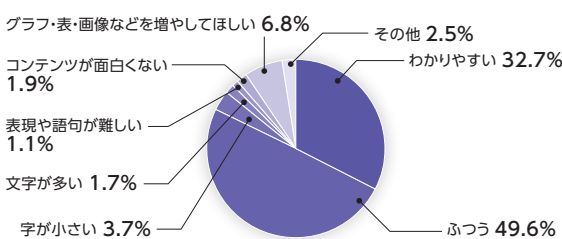
株主さまとして、今後当社に期待することをお
聞かせください。



今回のアンケートで、株主通信に関しまして、「グラフ・表・画像などを増やしてほしい」とのご意見をいただきましたので、今回から株主のみな
さまにより分かりやすくご理解いただけるよう財務情報をグラフ化したり、文字を大きめにするなどの変更を加えました。
また、株主優待についてもさまざまなお意見をいただきました。今後の株主さまへの還元策を検討するうえでの参考とさせていただきます。

実施期間：2014年6月27日～7月31日
回答者：925名
回答率：15.3%

同封の「株主通信Vol. 28」をご覧ください、
率直なご意見をお聞かせください。



施工実績

西予市立西予市民病院



概要	
竣工年月	2014年8月
施 工 地	愛媛県西予市
建物用途	医療施設
延床面積	11,765.16㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調設備工事

本物件は、災害時の医療活動拠点とするため、地盤改良を行い、免震構造や非常用発電装置を備えるなど、病院の機能停止を防ぐための対策が施されています。当社は、同物件において、共同企業体の幹事会社として空調設備工事を担い、外来系統には氷蓄熱システムとモジュールチラーを組み合わせた空調設備を施工し、病室系統と負荷変動が大きい系統にはパッケージ(EHP)空調を施工いたしました。

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 15号館COCプラザ棟



概要	
竣工年月	2014年7月
施 工 地	京都府京都市
建物用途	教育施設
延床面積	5,174.07㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調・衛生設備工事

本物件は、階段の踊り場に点字タイルが設置されるなど、バリアフリーの観点からの施設整備が評価され、京都市より「京都市みやこユニバーサルデザイン優良建築物」として認定されました。当社は同物件の空調・衛生設備工事のほか、エレベーター設備の施工に携わりました。

株式会社宮城ニコンプレジジョン 107号館



概要	
竣工年月	2014年9月
施 工 地	宮城県刈田郡蔵王町
建物用途	光学・精密機器製造工場
延床面積	2,009.80㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	建築・電気・空調設備工事

本物件は、床耐荷重を5t/㎡とし、1.5t仕様および2.8t仕様のホイストクレーンを1基ずつ備えた大型クリーンルーム工場です。既存の105号館および106号館と連結させ、液晶露光装置の増産体制に対応するとともに、生産効率の向上にも配慮した工場となっています。

佐藤薬品工業株式会社 造粒棟



概要	
竣工年月	2014年9月
施 工 地	奈良県橿原市
建物用途	医薬品製造施設
延床面積	2,032.12㎡
物件形態	地上4階
工事範囲	空調・衛生設備工事

本物件は、医薬品の受託製造市場の拡大に対応するため、内服薬の錠剤の生産能力増強を目的として新設された工場棟です。当社は、同物件において設計事務所監修のもと、高効率冷凍機やインバーター制御モーターの採用など省エネルギー性に配慮した施工を行いました。また、きめ細かい空間差圧制御を構築し、製造室の清浄度維持と交差汚染防止の対策を行いました。

テクノ菱和の技術の紹介

Vol.07

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり…

テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。

そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である

私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check!



最適な環境づくりに貢献!

室内環境シミュレーション技術

☆室内環境シミュレーション技術って？

室内環境シミュレーション技術とは、室内の空気の流れ、温度の変化、有害物質などの濃度の変化などをコンピュータシミュレーションで「見える化」する技術のことです。

☆どんなメリットがあるの？

シミュレーションを行うことで、機器の配置などが異なる複数の図面を設計段階で比較検討することができます。また、模型などを作って実験を行うより、コストの削減や時間の短縮を図ることができます。

☆どんな場面でシミュレーションを行っているの？

当社は次の場面などでシミュレーション技術を活用しております。

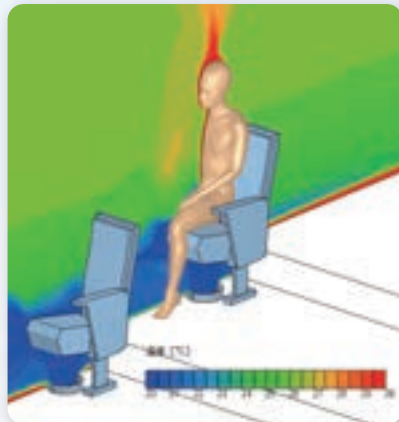
「一般居室の温度分布」

- ・事務所などにおいて、空調時の温度分布のシミュレーションを行うことで吹出口の設置位置や風量を最適化することができます。これにより、快適かつ省エネルギーな空調システムを構築します。

「精密環境の気流分布」

- ・クリーンルームなどにおいて、室内の空気の流れの変化をシミュレーションすることで、その気流性状を予測し、滞留域の少ない高度な清浄度を確保することができます。

当社では、長年の研究と実証に基づいた室内環境シミュレーションを実施し、設計段階から気流分布や温度分布などを把握し、より合理的な空調設計を行っております。また、竣工後の実測検証を行い、シミュレーション技術の向上を図っております。



Check!



環境負荷の低減に貢献!

排気処理技術

☆排気処理技術って何？

排気処理技術とは、周辺環境に影響を与えないように、排気ガスを無害化する技術のことです。排気処理技術を利用した日常生活で身近な製品は、部屋の中に生じたホコリや臭いを除去する空気清浄機です。

☆どうして必要なの？

工場など各種製造施設では多種多様なガスや薬品が用いられ、強い毒性があったり、ひどい臭気を放ったり、微粒子を含むような排気ガスが発生する場合があります。これらの排気ガスは何も対策をせずに大気に放出すると、人に健康被害を及ぼす大気汚染の原因となってしまいます。そこで排気処理技術が必要となります。

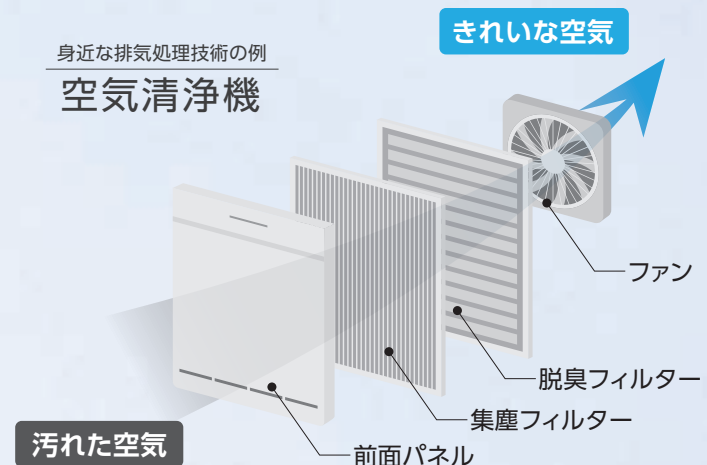
☆どんな技術があるの？

対象となる物質や濃度に応じて様々な技術があります。例えば排気ガス中の有機物質が処理対象となる場合、活性炭などによる吸着法や有機物質そのものを燃やして二酸化炭素と水に分解してしまう燃焼法などがあります。しかし除去対象物質によっては、無害化される間に空気中の酸素などと反応するものがあるほか、複数の物質がある場合は、物質同士が反応することがあります。このような場合、想定していた方法では無害化できなくなるので、適切に無害化する最適な排気処理システムの設計施工には、高度なノウハウが必要となります。

当社は長年培ってきた実績とノウハウで最適なシステムを構築し、環境への負荷の低減に貢献してまいります。

身近な排気処理技術の例

空気清浄機



受注高	売上高	経常利益	中間純利益
30,388百万円 ＜前年同期 30,160百万円＞	24,244百万円 ＜前年同期 19,190百万円＞	446百万円 ＜前年同期 △392百万円＞	241百万円 ＜前年同期 △272百万円＞

受注高構成比

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。

(単位:百万円)	
1,340	907
第65期	第66期
3.0%	907百万円

電気設備工事

当中間期は、企業の設備投資意欲が引き続き回復傾向にあり、医薬品および食品分野を中心に受注は堅調に推移いたしました。

今後は、受注の拡大に向けて、ライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制の構築を推進してまいります。

産業設備工事

(単位:百万円)	
11,544	11,892
第65期	第66期
39.1%	11,892百万円

設備改善工事

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。

冷熱機器販売

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

41.4%	12,589百万円
(単位:百万円)	
17,220	12,589
第65期	第66期

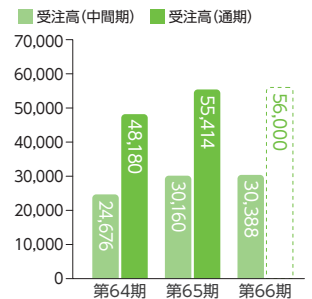
一般ビル設備工事

当中間期は、医療施設や教育施設を中心に官公庁からの受注が増加したため、受注は堅調に推移いたしました。

今後は、円安や原子力発電所の稼動状況から引き続きエネルギーコストの増加が予想されますので、省エネルギー提案営業に力を入れ、省エネニーズを取り込んでまいります。

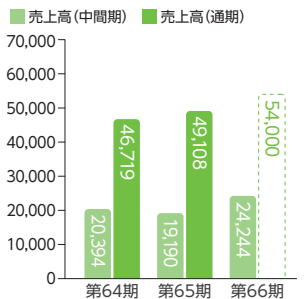
受注高の推移

(単位:百万円)



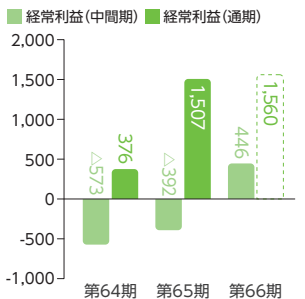
売上高の推移

(単位:百万円)



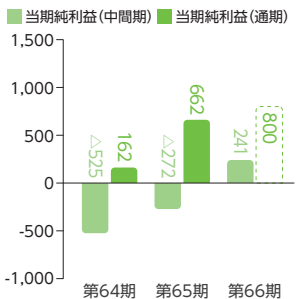
経常利益の推移

(単位:百万円)



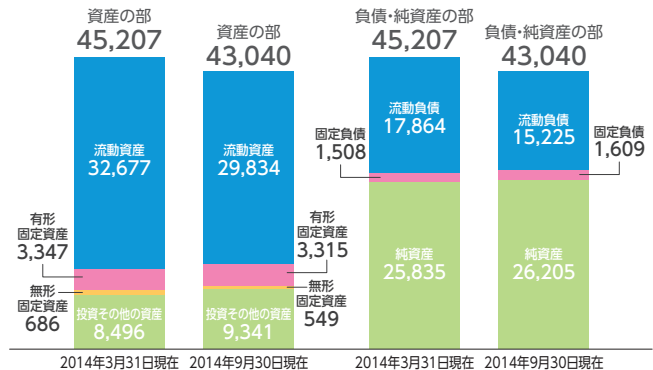
当期純利益の推移

(単位:百万円)



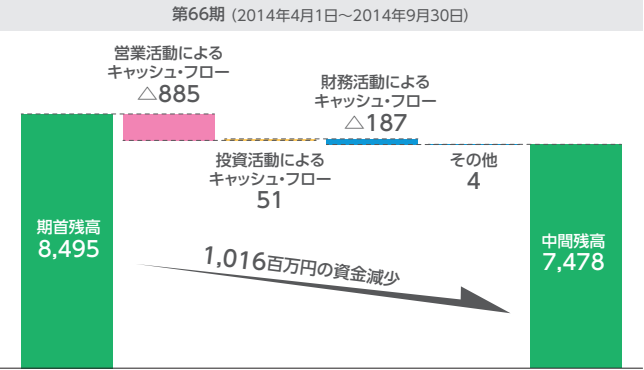
貸借対照表の概要

(単位:百万円)



キャッシュ・フローのポイント

(単位:百万円)



財務のポイント

資産の部

流動資産の受取手形・完成工事未収入金等の減少21億円を主なものとして、資産合計は、前期末と比較して21億円減少し430億円となりました。

負債の部

流動負債の支払手形・工事未払金等の減少25億円を主なものとして、負債合計は、前期末と比較して25億円減少し168億円となりました。

純資産の部

その他有価証券評価差額金の増加4億円を主なものとして、純資産合計は、前期末と比較して3億円増加し262億円となり、自己資本比率は、前期末比で3.8ポイント上昇し60.9%となりました。

キャッシュ・フロー

売上債権の回収による資金増加21億円、仕入債務の支払いによる資金減少25億円を主なものとして、現金及び現金同等物は、前期末と比較して10億円減少し74億円となりました。

詳細情報はウェブサイトへ



▶ 会社概要／株式の状況

会社概要（平成26年9月30日現在）

商号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立	昭和24年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所市場第二部
従業員	653名（連結760名）
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

主 な 事 業 所

技術開発研究所(東京都世田谷区)

東京本店(東京都豊島区)

千葉支店(千葉県千葉市)

茨城支店(茨城県土浦市)

北関東支店(埼玉県さいたま市)

東北支店(宮城県仙台市)

横浜支店(神奈川県横浜市)

名古屋支店(愛知県名古屋市)

静岡支店(静岡県静岡市)

大阪支店(大阪府大阪市)

中国支店(岡山県倉敷市)

九州支店(福岡県福岡市)

海外事業部(東京都豊島区)

事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客さまのビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客さまを総合的にサポートしてまいります。

■ 産業設備関連事業

清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。

■ 一般ビル設備関連事業

事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。

■ 冷暖機器販売事業

設備工事に付帯する空調機などを販売しております。

■ 電気設備工事業

松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。

■ 保険代理事業

株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

■ その他の事業

太陽光発電による電力を売電する事業を行っております。

役員（平成26年9月30日現在）

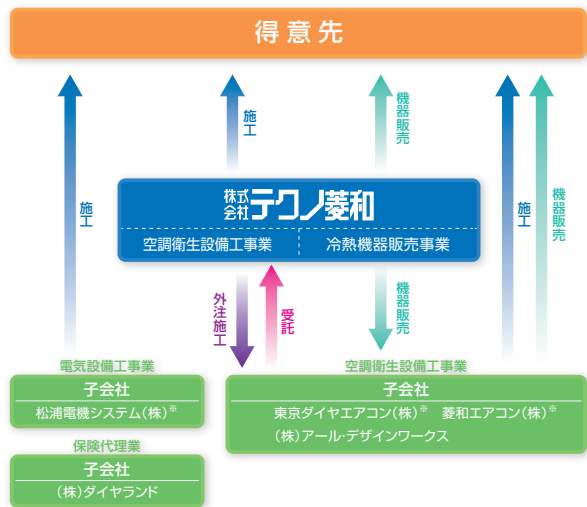
代表取締役社長	阿部捷司	取締役	松橋秀明	常勤監査役	永江繁
専務取締役	黒田英彦	取締役	根岸孝雄	監査役（社外）	横山真次
専務取締役	堂垣内重晴	取締役	岡田秀司	監査役（社外）	林健一郎
常務取締役	飯田亮輔	取締役	鈴木孝		
常務取締役	知見扶公	取締役	若村恒夫		
取締役（社外）	楠本馨	取締役	星野宏一		

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社*	株式会社アール・デザインワークス
所在地 東京都新宿区	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社*	株式会社ダイヤランド
所在地 愛知県名古屋市中区	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業

松浦電機システム株式会社*	
所在地 大阪府守口市	
主要な事業の内容 電気設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」

ご優待内容	
ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況

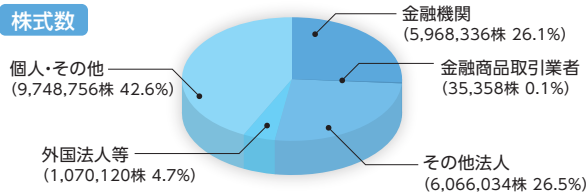
発行済株式の総数	22,888,604株
当中間期末現在の株主総数	5,857名

大株主

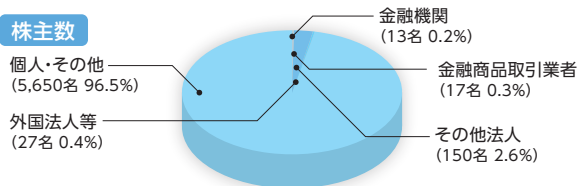
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,158	9.4
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
テクノ菱和従業員持株会	749	3.2
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	672	2.9

株式の分布状況

株式数



株主数



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
単 元 株 式 数	100株
公 告 掲 載 U R L	http://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸 手 続 き お 問 い 合 わ せ 先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。
ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。
詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711（通話料無料）

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

